

SUSTAINABILITY REPORT 2024

サステナビリティレポート

【別冊】グループ会社の取組み

「確かな安心を、いつまでも」という経営理念のもと、明治安田生命グループで共有する考え方として、「グループサステナビリティ方針」を定め、国内・海外のグループ会社においてもさまざまな取り組みを通じて持続可能で希望に満ちた豊かな社会づくりに貢献しています。

[▶グループサステナビリティ方針](#)

また、グループ全体のサステナビリティ経営をさらに推進するべく、「健康寿命の延伸」「地方創生の推進」「環境保全・気候変動への対応」「DE&Iの推進」「人権の尊重」の5項目を、グループベースで取り組む優先課題に設定しています。



国内グループ

保険業および保険関連事業

- ・明治安田損害保険株式会社
- ・明治安田保険サービス株式会社

資産運用事業

- [投資運用業等]
- ・明治安田アセットマネジメント株式会社
- [不動産管理業]
- ・明治安田ビルマネジメント株式会社

総務関連事業等

- [総務関連事業]
- ・明治安田システム・テクノロジー株式会社
 - ・明治安田ライフプランセンター株式会社
 - ・明治安田オフィスパートナーズ株式会社
 - ・明治安田ビジネスプラス株式会社
 - ・明治安田商事株式会社
 - ・明治安田収納ビジネスサービス株式会社
- [その他事業]
- ・株式会社明治安田総合研究所

財団法人等

- ・明治安田厚生事業団
- ・明治安田こころの健康財団
- ・明治安田クオリティオブライフ文化財団
- ・明治安田健康開発財団
- ・ダイヤモンド・スポーツクラブ

海外グループ

海外保険事業：4カ国6社



明治安田損害保険

企業・団体向け福利厚生制度関連商品およびリスクソリューション型商品等の提供

当社は、「確かな安心を、いつまでも」という経営理念を掲げ、損害保険商品を通して一人ひとりの健康づくり、社会の発展を応援し、持続可能で希望に満ちた社会づくりに貢献いたします。

優先課題

グループ共通優先課題

健康寿命の延伸

地方創生の推進

環境保全・気候変動への対応

DE&Iの推進

人権の尊重

自社として特に注力する優先課題

こどもの健全育成

金融サービスへの平等なアクセス確保

こどもの健全育成



当社は、「金融・保険教育」や社会貢献活動を通じ、こどもの健全育成の取組みを推進しております。

本社が所在する神田地区では、町内会がこどもたちに縁日を体験してもらおうと始めた「こども縁日」の運営に協力し、猛暑の中を訪れていただいたたくさんのご家族に飲み物を提供するお手伝いをしました。

また、高校生等に対し当社の職員が講師となって「ライフイベントとお金の関係」や「お金の管理の仕方」等をテーマにした講義を行なう金融教育や、当社職員のうち未就学児を育児中の職員を中心に座談会を開催し、こどもに関する商品やサービスの研究・開発を検討するといった取組みを通じて、こどもたちが安心して成長できる環境づくりを進めています。



こども縁日



育児中職員の座談会

ペーパーレス化の推進



当社の課題でもある業務効率化と合わせてペーパーレス化を推進しており、システムの再構築まで含めた抜本的なBPR（業務プロセス改革）を通じて実現されるドキュメントの電子化と、各役職員の日常業務における意識の変化により実現される節減の双方の観点から取り組んでいます。

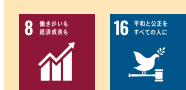
前者については、これまでご契約者さまあてに紙でお送りしていた文書のWeb化を進める一方、後者については、各部のコピー機のカウンターで印刷枚数を計測し、社内ニュースに掲載することで、役職員のペーパーレスに対する意識の醸成を行っており、会議のペーパーレス化や、引き続き印刷が必要な文書についても積極的に両面印刷や2in1印刷を活用するなど、ペーパーレス化の取組みにつなげています。



2024年6月 社内報発行部数（印刷部）									
部署	発行部数	印刷枚数	枚数削減率	枚数削減率	枚数削減率	枚数削減率	枚数削減率	枚数削減率	枚数削減率
総務部	1,000	10,000	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%
人事部	500	5,000	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%
営業部	2,000	20,000	70%	70%	70%	70%	70%	70%	70%
経理部	1,500	15,000	60%	60%	60%	60%	60%	60%	60%
技術部	800	8,000	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%
生産部	3,000	30,000	40%	40%	40%	40%	40%	40%	40%
品質部	1,200	12,000	30%	30%	30%	30%	30%	30%	30%
総計	10,000	100,000	65%	65%	65%	65%	65%	65%	65%

社内ニュース

DE&Iの推進



2024年度は、東京ボッチャ協会様より講師をお招きし、パラリンピック種目の一つである「ボッチャ」体験会を開催しました。「ボッチャ」は年齢・性別・障がいの有無に関わらず、すべての人が一緒に競い合えるスポーツであり、体験を通じて多様性を認め合う意識の醸成につながりました。また、障がい者就労支援を目的とした社内パン販売も行ないました。

社内向けには、介護・育児等の休暇休職制度等の活用促進による就業継続しやすい風土づくりを進め、2023年度の男女育児休業取得率は100%を達成しています。またシニア層の活躍をサポートするため、2024年4月に高年齢雇用制度を拡充し、満60歳定年後の再雇用期間（～満65歳誕生日）について、所定の任用基準を満たす職員等は満70歳まで延長しています。



「ボッチャ」体験会



障がい者就労支援（社内パン販売）

健康経営の推進



当社では社内外のステークホルダーの健康づくりの支援に取り組んでいます。

会社役員賠償責任保険では「健康経営優良法人」に認定された企業・団体に割安な保険料を提供する「健康経営割引」を実施し、2024年9月末現在83件が適用を受けました。また、明治安田グループ体の取組みである「みんなの健活プロジェ

クト」の一環として、代理店さまと協働したウォーキングイベントを実施しています。社内向けには毎年健康セミナーを開催しており、今年度は「カラダの衰えチェックセミナー」「マインドフルネスセミナー」「ピラティスセミナー」を実施しました。

「こころの健康」についても、全役職員がメンタル研修を受講し、コミュニケーション活性化を目的とした社内交流会「MYGコミュ」を定期的に開催する等、従業員の健康づくりに積極的に取り組み、2年連続で健康優良企業「金の認定」をいただきました。



カラダの衰えチェックセミナー



明治安田アセットマネジメント

資産運用業務、投資助言・代理業務、第二種金融商品取引業務

私たちは、お客さまに最も信頼され、満足いただける資産運用会社をめざすとともに、インベストメント・チェーンの一員として持続可能な社会の形成に貢献します。

優先課題

グループ共通
優先課題

健康寿命の延伸

地方創生の推進

環境保全・気候変動
への対応

DE&Iの推進

人権の尊重

自社として特に
注力する優先課題

金融リテラシーの向上

働き方改革の推進

ガバナンス強化と経営の透明性確保

サステナブル投資の積極的な推進

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

サステナブル投資は、「持続可能な経済社会システムの実現に向けた広範な課題に対する意思決定や行動への反映を通じて、経済・産業・社会が望ましいあり方に向けて発展していくことを支える金融メカニズム、すなわち、持続可能な経済社会システムを支えるインフラと位置付けるべきもの」と考えられています。

当社は、サステナビリティを投資・対話において考慮する、ESGインテグレーション（投資プロセスへのESG要素の組み込み）やエンゲージメント（投資先との対話）等を推進してまいりました。今後も、より多くのステークホルダーとともに、サステナブル投資を推進してまいります。



社会的価値、経済的価値の同時実現による持続可能な企業価値向上により
運用資産の最大化を目指す

投資ポートフォリオにおけるGHG排出量ネット・ゼロ実現



当社は、経営理念において「インベストメント・チェーンの一員として持続可能な社会の形成に貢献」すること、「お客さまに最も信頼され、満足いただける資産運用会社を目指す」ことを掲げており、アセットオーナー等のお客さまと協働しながら、投資ポートフォリオにおける温室効果ガス（GHG）排出量のネット・ゼロ実現をめざしています。

具体的には、2023年1月、「The Net Zero Asset Managers initiative (NZAM)」に加盟し、ガイダンスに

沿って設定した2030年中間目標の進捗状況を年次でモニタリングしています。また、投資先企業のうち多排出企業に対しては、GHG排出量削減のみならず、削減目標設定、Scope1～3の情報開示、トランジションに向けた投資計画などを包括的にアセスメントし、エンゲージメントを行なっています。

Net Zero
Asset Managers
Initiative

「ご当地ファンド」設定を通じた地域活性化支援



当社では、過疎化・少子高齢化による人口減少や地域経済の縮小は資産運用ビジネスにも直接的な影響をもたらす課題と捉え、解決に向けた取組みの一環として地域を応援する投資信託、いわゆる「ご当地ファンド」の開発・運用に取り組んでいます。

これらのファンドでは、対象地域に本社を置く企業等の株式に投資するとともに、信託報酬の一部を「地域の未来づくりへの貢献」が期待できる団体に寄付するしくみ等を設けることで、地方創生に対する関心の喚起、域内経済の活性化、さらなる

発展をめざす企業への支援とともに、お客さまの「活力ある地域・ふるさとを次世代につなぐたい」という想いを応援するものです。

現在、新潟、長野および岐阜・愛知で計4商品が設定されており、今後も対象地域・商品の充実に向け積極的に取り組んでまいります。



社長が新潟県知事へ寄付金の目録を贈呈

お客さまの金融リテラシー向上のサポート



当社では、マーケット情報や当社運用商品に関する勉強会・セミナーの開催や、販売用資料・レポート等の提供を通じ、販売会社の担当者や個人投資家のお客さまの金融リテラシー拡充・向上のサポートに取り組んでいます。

多くの方が、投資信託の活用は資産形成における効果的な手段と理解されている一方で、ご自身の金融知識に自信を持っていないことや、損失を被ることへの不安などから投資をためらわれており、これは資産運用会社の一角として我々が取り組む

べき課題と認識しています。当社では、情報発信にあたっては金融に馴染みのないお客さまにも伝わるよう、専門用語を噛み砕き「明確にメッセージを届ける」ということを常に意識するとともに、突発的なマーケットイベント発生時の情報提供や、投資信託の一般的な啓発・普及につながる活動などを継続的にこなしています。



セミナーの開催

人財開発部を中心としたダイバーシティの推進



当社は2018年度に、女性が働きやすく活躍できる職場を女性目線で検討することを目的に組織横断的な「女性活躍推進検討会」を発足、多様な働き方を進めていく上での課題を整理し、会社への提言を行ないました。その活動は、翌年度に新設された「人財開発部」に引き継がれ、「管理監督層の女性社員比率を20%へ」などの目標達成に向けた取組みを継続しています。

2020年度以降は、性別・年齢・国籍といった属性に関するダイバーシティのみならず、知識や経験、価値観や考え方といった実質的な多様性を活かした企業風土づくりに取り組み、役職員一人ひとりに寄り添った支援を実施しています。

また、誰もが制約にとらわれずに活躍できる職場環境整備

に向け、定期的に社内報“with”を発刊し、「仕事」と「ライフ」を両立するための情報提供を行なっています。



人財開発部通信 with

明治安田システム・テクノロジー

システム開発・運用管理業務、ソリューション提供、
介護関連事業

明治安田グループ唯一のIT専門会社として、高い専門性と技術力でお客さまに高品質なサービスと新しい価値を提供し、お客さまに信頼され続けられる会社をめざします。

優先課題

グループ共通
優先課題

健康寿命の延伸

地方創生の推進

環境保全・気候変動
への対応

DE&Iの推進

人権の尊重

自社として特に
注力する優先課題

デジタル人材の育成

やりがい・成長実感の向上

【地方創生の推進】弘前開発センターによる地域貢献



当社の弘前開発センターは、1993年開設以来常に地元に密着し、「地域活性化への貢献」や「健康寿命の延伸」にも積極的に取り組んでいます。

その一環で、弘前市が主催する「誘致企業体験ツアー」（2019年度）に参画し、小学生「プログラミング体験会」を開催、こどもたちがIT技術に触れ、楽しみながら学べる機会を提供しました。その後も体験会の開催を継続しており、現在は「青森県が進める健康増進」[SDGs]をテーマに健康的な生活習慣を学べる体験コンテンツを製作し「親と子のワークショップ（事業所）」や「プログラミング授業（小学校）」を開催しています。

こういった弘前市への地元貢献が評価され、当社は2023年度

に「ひろさき地方創生パートナー企業」として認定されました。今後も弘前開発センターは「地域活性化」「地元の雇用創出」に貢献することはもちろん、IT企業の強みを活かした地域に役立つサービスを提供し、新たな価値にもつなげていければと考えています。



小学生プログラミング教室



弘前市長向けDemo

【デジタル人財育成の強化】デジタル技術獲得への取組み～マイテクノX～



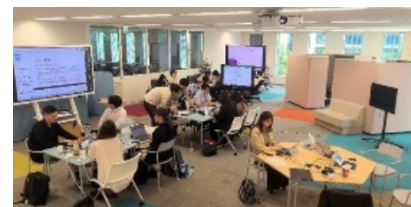
ビジネスシーンに影響する新たなデジタル技術に対応するため、当社独自の取組みである「マイテクノX」という社内横断チームを一層強化することでデジタル人財の育成を加速し、明治安田生命保険のデジタル戦略に貢献しています。加えて、ビジネスに直結するアイデアやソリューションの発信も引き続きチャレンジするために、幅広いメンバーの参画を促しています。社員一人ひとりが多様な知識とスキルを発揮できるよう、自由応募制を維持し、個々の挑戦心をさらに促進する施策も講じています。

最近では、AI・データ分析、生成系AIの実用化に向けた取組みを強化し、デザイン思考による身近な課題解決においても、プロトタイプ作成や生成系AIの実証実験を通じ、解決策の早期実現に向けた取組みを本格化させています。

さらに、生保系IT子会社との合同ハッカソンにも継続して参加し、より高度な競争意識を通じて、新たな価値を生み出す取組みを強化しています。これにより、社員の自己成長と技術力

の向上を実現するだけでなく、デジタル社会においてリーダーシップを発揮できる人財を育成しています。

今後は「マイテクノX」の活動をさらに発展させ、明治安田グループ唯一のIT専門会社の強みを活かしながら、新たなビジネスチャンスを創出できる体制を構築し、デジタル変革のリーダーとして一歩先を行く企業をめざしていきます。

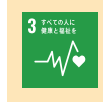


マイテクノX活動風景



マイテクノX成果発表

【健康寿命の延伸】介護事業における介護・健康・福祉促進への寄与



当社の介護の広場本部では、明治安田グループ内はもとより、一般の方々のためにこれまで培ってきた介護等の知見を基に「MY介護の広場サイト」を運営しています。

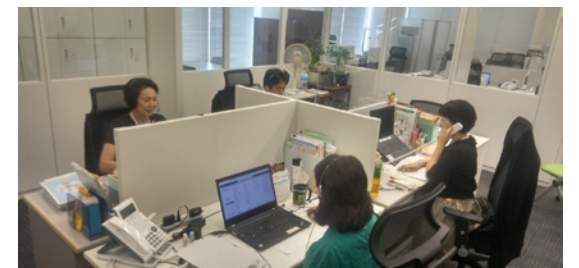
そのほか、ご依頼いただいた団体様に向け、介護セミナーの開催を通じて広く介護予防や介護にまつわる法律等の周辺知識、また、「仕事と介護の両立」などの実践的な介護情報を提供しています。

さらに、明治安田生命保険のお客さまなどからの「介護電話相談サービス」なども承っており、網羅的に役立つ情報を展開しています。

今後も、事業特性を活かした活動で社会福祉への貢献に努めてまいります。



セミナーの開催



介護電話相談ブース

健康経営(健活プロジェクト)の推進(ホワイト500の認定)



すべての従業員が心身ともに健康で、ライフとワークの両面で高い「満足度」を感じることができるよう、健康経営に取り組んでいます。

2019年度から推進態勢を整備し、「健活プロジェクト」と称してPDCAサイクルを回しながらさまざまな健康施策を展開してきました。

例えば、休暇取得・早帰り促進等を企図した「ライフ・ワーク・バランス推進プログラム」の運営や、毎月の健康に役立つ「健康増進ニュース」の全社発信、女性活躍支援の観点からは「女性疾病予防セミナー」の開催や、「女性専用休憩室」の設置も行ないました。最近では多くのIT技術者を悩ませる腰痛・肩こりや頭痛対策の「健康セミナー」なども開催しています。

こうした従業員の健康に対する積極的な取組みの結果、従業員「満足度」は年々上昇し、健康経営優良法人の認定も5年連続で取得、さらには上位評価法人の冠である「ホワイト500」の認定も受けるなど、社内外の評価の向上にもつながっています。



健康セミナー風景



明治安田保険サービス

損害保険代理店業務、生命保険募集業務、自動車損害賠償保障法に基づく保険代理業務等

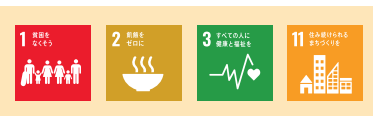
「信頼を得て選ばれ続ける保険代理店」として、お客さまに寄り添った最適な商品のご提案とアフターサービスを通じ、「確かな安心をいつまでも」お届けします。

優先課題

グループ共通 優先課題	健康寿命の延伸	地方創生の推進	環境保全・気候変動 への対応	DE&Iの推進	人権の尊重
----------------	---------	---------	-------------------	---------	-------

自社として特に 注力する優先課題	こどもの健全育成	金融サービスへの平等なアクセス確保	ダイバーシティの推進
---------------------	----------	-------------------	------------

地元「新宿」で持続可能な社会づくりに貢献

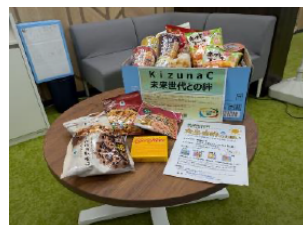


新宿区役所や新宿区社会福祉協議会等と連携・協働して、持続可能な社会づくりに貢献できるようにさまざまな活動を行なっています。

新宿区役所に「道のサポーター」登録を行ない、指定された区道の清掃や“新宿区一斉道路美化清掃”を行なうなど地元の環境整備に取り組んでいます。

また、新宿区社会福祉協議会主催の“災害ボランティア講座”

の受講や、“敬老の日お手紙ボランティア”・“フードパントリー”への協力、事務所が入居している新宿スクエアタワーで実施された“献血会”への協力など、持続可能な社会実現に向けて幅広く活動しています。



フードパントリー



新宿区一斉道路美化清掃

地元「新宿」の“未来世代”の成長・育成に貢献



未来世代を担うこどもたちの健全な心身の発育と質の高い教育を継続実現していくために、地元の小学校等の活動やイベント運営に積極的に協力しています。

【西新宿中学校】

会社で使用する文房具等を購入するにあたり、“WEBベルマーク”の仕組みを活用して購入代金の一部を寄付しています。

【西新宿小学校】

授業間の「中休み」の児童安全見守り活動や「スポーツフェスティバル」「サマーフェスティバル」などのイベント運営や、「金融・

保険教育」授業の実施等、学校やPTAと連携して幅広い活動を行なっています。

【西新宿児童館】

牛乳パックやペットボトルキャップの収集・リサイクル活動や“児童館まつり”の運営等に協力しています。

地元に根付いた継続的な活動を行なうことで、「未来世代との絆」の深化に取り組んでいます。



金融・保険教育



スポーツフェスティバル

健康経営の推進



全従業員が心身の健康増進を図りつつ、仕事や生活ができるよう健康経営に取り組んでいます。

心の健康増進のために産業医によるメンタルセミナーの開催、身体の健康増進のために毎日の健活体操に加えて社外講師による“筋膜リリース&エクササイズ”セミナーの実施や家族の心身の健康のために“認知症サポーター養成講座”等を開催しています。



明治安田ビルマネジメント

明治安田生命グループ所有ビル等のプロパティマネジメント

SDGsの考え方に賛同し、プロパティマネジメント会社として、事業活動と日ごろの社会貢献活動とを通じたSDGs貢献を実践いたします。

優先課題

グループ共通 優先課題	健康寿命の延伸	地方創生の推進	環境保全・気候変動 への対応	DE&Iの推進	人権の尊重
----------------	---------	---------	-------------------	---------	-------

自社として特に 注力する優先課題	安全・安心・快適なオフィス環境の一層の向上	デジタル化の推進	人材育成とダイバーシティの推進
	社会貢献活動の推進	ガバナンスの高度化	

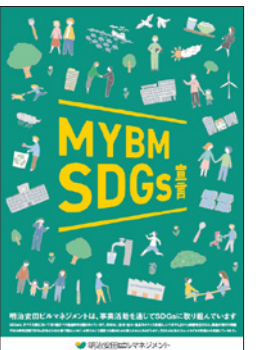
SDGs宣言とSDGs推進における基本方針



「安全・安心・快適なオフィス環境を、いつまでも」という経営理念のもと、ステークホルダーをはじめ、広く世間に対しSDGsを会社経営の中心に据えて取り組む姿勢を明確にするために、2022年6月に「SDGs宣言」を発信いたしました。

2024年度より、「SDGs宣言」を実践、実現していくため、

①当社管理ビルのCO₂排出量を2030年度までの削減目標に対し80%の進捗②建物を活用した地域貢献を全ビルで推進していくこと③ビル利用者・管理者一体でのSDGsへの取組みを推進し、SDGs認知度〈テナントアンケート〉80%以上を達成、の3つを土台に積極的に取り組んでいます。



MYBM SDGs宣言ポスター

プロパティマネジメント業務を通じたCO₂排出量削減に向けた取組み

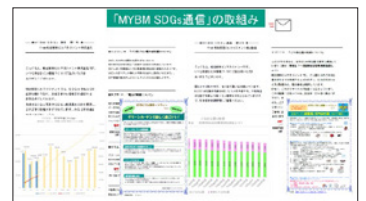


当社管理ビルのCO₂排出量について2030年度までに目標値の80%を削減すべく、照明のLED化工事や空調の高効率化工事等を計画的に推進しています。加えて、営業所の大規模工事については、ZEB化、ZEB-READY化^(※)工事を立案し、よりいっそうのCO₂排出量の削減に取り組んでいます。

また、2024年度よりテナント協働のためのツールとして

「MYBM SDGs通信」メールを開発し、主要ビルテナントに対して同ビル電力使用量等の情報をお知らせするなど、問題意識をもち協働して省エネに取り組めるよう、活動しております。

※[ZEB]: 年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの建築物
「ZEB Ready」: ZEBを見据えた先進建築物として、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えた建築物



MYBM SDGs通信

建物を使っての地域貢献・健康増進活動



「MYBM SDGs宣言」の下、全社一丸となった持続可能な社会づくりへの貢献として、『建物を活用した地域貢献への取組み』を推進しています。具体的には、全国各センターで、当社の管理受託物件の建物等を活用し「学びと交流を深める」活動と

して、各種セミナー開催(AED講習セミナー、健活セミナー等)を通じたSDGs関連情報の発信や、地域ボランティア活動、防災訓練、各種スポーツイベント等の会場としてご利用いただいています。

今年度は、新たに、東京都ドクターヘリのランデブーポイントとしての活用(八王子グリーンランド)や、建物敷地の地元イベントへの活用(仙台ビル・御堂筋ビル)等を通じ、地元にご貢献しています。



明治安田ライフプランセンター

企業・団体向けライフプランセミナーの企画及び講師派遣、健康増進サポート事業等

団体保険運営をサポートする会社として、お客さまを大切にし、団体保険の付加価値サービス、事務受託を中心に高品質なサービスと確かな安心をお届けします。

優先課題

グループ共通
優先課題

健康寿命の延伸

地方創生の推進

環境保全・気候変動
への対応

DE&Iの推進

人権の尊重

自社として特に
注力する優先課題

健康・福祉づくりへの貢献

金融サービスへの平等なアクセス確保

自治体の結婚支援事業のセミナーへの講師派遣



当社は、法人・団体さまが主催するライフプランセミナーへの講師派遣、およびライフプラン関連テキスト等の開発を通じて、所属のみなさまのライフプランづくりをサポートしています。

主な講演テーマはライフプランの三要素（生きがい・家庭経済・健康）で、自治体職員のみなさま向け年代別セミナーも数多く受託しています。

近年では、自治体における結婚支援事業として開催された「社会人向けライフプランセミナー」への講師の派遣や、地方創生に向けた「移住支援セミナー」のコンテンツを提供しています。

セミナーの運営等は明治安田生命保険等と連携しながら対応しており、法人・団体さまのさまざまなニーズにお応えするよう取り組んでまいります。



団体保険付帯の健康増進サービス等の推進



当社は、明治安田生命保険の団体保険制度を導入されている法人・団体の所属員の方に、明治安田生命保険が提供する健康増進に役立つ各種サービス（「健康づくりサポート」）の事務を受託しています。

「健康づくりサポート」とは、健康・医療・メンタルヘルスなどのさまざまなサービスメニュー（健康情報誌や健康情報Webサイト、各種電話相談サービス、健康関連優待割引サービス等）を提供することで、ご加入者とそのご家族の健康づくりをサポートするサービスです。充実したメニューをいつでも・どこでもご家族でご利用いただけます。

また、メンタルヘルスセミナーの講師派遣や、ストレスチェックサービスの提供も行なっています。

これからも、みなさまの心と体の健康づくりをサポートしてまいります。



健康づくりサポート

育休取得促進セミナーへの講師派遣



当社は、育児休業取得促進を目的としたセミナーに講師派遣を行なっています。

政府の「こども未来戦略方針」において男性の育児休業取得率の目標が掲げられる中、男性の育児休業取得率の改善のため、仕事と育児を両立しやすい職場環境の実現が急務となっています。

当社のセミナーでは、主に管理職層を対象とした「イクボスセミナー」、育休取得対象者を対象とした「イクメンセミナー」、独身者・結婚予定者を対象とした「結婚支援セミナー」の3つ

のメニューを準備し、男性の積極的な育児参画や上司等の理解を促進するため、ワーク・ライフ・バランスの向上への啓蒙教育に取り組んでまいります。



セミナーの開催

ペーパーレスによる団体保険のご案内



当社は、法人・団体の所属員の方向けに、団体保険の制度内容を説明した動画の制作を行なっています。

お客さまのホームページへ掲載された動画を休憩時間中に視聴、二次元コードから個人用スマホで視聴するなど、いつでも・どこでもご覧いただくことができ、職場等での保険説明会でお配りする資料の削減に役立っています。

また、動画をご覧いただいた方からは「知りたかった保険の内容を分かりやすく理解できた」とのお声も多数いただいています。

今後も引き続き、お客さまに分かりやすい動画をお届けするとともに、ペーパーレスに貢献する取組みを推進してまいります。



社内アスリート支援

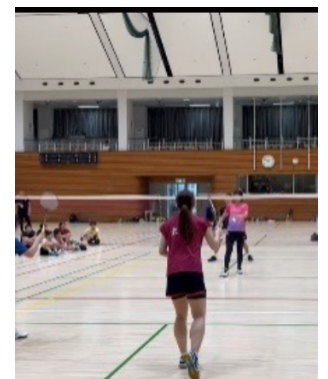


当社は、2024年度に社員の健康増進や、挑戦する社員を応援する風土・会社の一体感醸成等の観点から、社員個人のスポーツ活動を支援する「社内アスリート支援制度」を創設いたしました。

具体的には、中央競技団体の公認する競技会等において、一定の要件のもとに出場する社員に対し、その活動費用の一部などを支援しています。

制度発足を受け、早速9月に全日本社会人バドミントン選手権大会に出場する社員から申請があり、適用第1号となりました。

今後とも当社は、社員の健康増進と、挑戦する社員を全力で応援する風土醸成に努めてまいります。



明治安田オフィスパートナーズ

生命保険・損害保険契約保全事務、保険契約確認業務
および福利厚生サービス業務等

ステークホルダーを大切にする会社として、高品質な業務・サービスの提供を通じて、これからもお客さまに確かな安心をお届けすることをめざします。

優先課題

グループ共通
優先課題

健康寿命の延伸

地方創生の推進

環境保全・気候変動
への対応

DE&Iの推進

人権の尊重

自社として特に
注力する優先課題

女性の活躍機会の拡大

健康経営の推進

マンパワーを支援するシステムインフラ開発

女性の活躍機会の拡大



従業員の約9割を女性が占めており、サステナビリティの取組みにおいて特に注力する優先課題としている「女性の活躍機会の拡大」を進め、現中期経営計画（テイクオフ計画第Ⅱ期）では「直接雇用の社員の女性幹部（グループマネジャー（以下GM）以上）35人以上」の目標を設定しています。

本計画では、「マンパワー」「ココロとカラダの健康」「経営態勢」の3つの改革を柱とし、マンパワー改革の取組みの1つとして、次期GM候補者となるユニットリーダー・チームリーダー層の育成を目的とした「テイクオフ倶楽部」を展開しています。

具体的には、ステップアップに向け社内のGMの1日を見学したり、受講者同士で組織運営・マネジメントの苦労の共有や、日頃感じている悩みなどを打ち明け、課題の解決やめざす姿について話し合う機会を設定しています。

テイクオフ倶楽部には27名（女性23名・男性4名）が参加しており、活躍機会の拡大につながるよう取り組んでいます。

2024年度上半期時点で目標である「直接雇用の社員の女性幹部（GM以上）35人以上」については、35人を維持しており、引き続き、女性幹部が安心して働ける環境・状況づくりにも努めてまいります。



多くの女性GMが活躍

健康経営の推進



「健康優良企業『金の認定』」更新、「健康経営優良法人（大規模法人部門）」のレベルアップに向け、「健康経営の推進」を経営計画の重点事項と位置づけ取り組んでいます。2024年度の社内調査では、職場における従業員の「健活」取組状況は94.9%であり、健康経営の浸透がみられました。

具体的には、健活セミナーやWeb配信型セミナーを開催するほか、企業風土創造・ブランド貢献運動として各組織で取り組む「Kizuna運動」でも、「ウォーキング1日6,500歩以上」や「MYログアプリ（従業員向けウォーキングアプリ）・健活アドバイスの活用推進」等、健康づくりに向けた行動変容の促進に積極的

に取り組んでいます。

また、管理職の部長・グループマネジャーは「メンタルヘルスマネジメント検定Ⅱ種」の合格を必須としており、メンタルヘルス教材を毎月提供しています。

各種セミナーでの心身の健康に関する知識向上と健活ウォーキングの取組みを通じて、健全で前向きな組織風土醸成に日々取り組んでいます。



明治安田健康開発財団と連携した「野菜で健康セミナー」

明治安田ビジネスプラス

障がい者雇用を通じた保険契約に関する事務サポート
業務、オフィスサポート業務等

当社は「一人ひとりの多様性を尊重する、人に一番やさしい会社」という企業ビジョンのもと、特例子会社として障がい者雇用を通じてSDGsの実現をめざしています。

優先課題

グループ共通
優先課題

健康寿命の延伸

地方創生の推進

環境保全・気候変動
への対応

DE&Iの推進

人権の尊重

自社として特に
注力する優先課題

働き方改革の推進

健康リテラシー・従業員能力の向上

ガバナンス強化と経営の透明性確保

コンプライアンスの推進

人財育成とダイバーシティの推進

障がい者雇用機会の創出



当社は、障がいのある方を安定的かつ持続的に雇用するために、明治安田生命保険の全額出資により2017年6月に設立された特例子会社です。

設立当初は、明治安田生命保険からの転籍による11名でスタートしましたが、その後も継続的に精神障がいや知的障がいのある方々を中心に雇用を拡大してきました。2024年6月1日には、当社の障がいのある職員数は242名に達し、明治安田生命保険の障がい者雇用率（2024年6月1日時点で2.59%）にも大きく貢献しています。

当社では、単に雇用の場を提供するだけでなく、職員が自分の長所を伸ばし、やりがいを持って成長し、活躍できる環境を整えることを重視しています。

具体的には、各職員の特性や能力に応じた業務を割り当てることで、個々の強みを最大限に引き出し、職場全体の生産性と満足度を向上させることをめざしています。

今後も、一人ひとりの個性に合った仕事を見つけやすくするために、働く場所と仕事の幅を広げ、職員がいきいきと成長し活躍できる職場を作り上げていきたいと考えています。



循環型生産緑化と地方創生の推進



明治安田生命新東陽町ビルにて、「循環型生産緑化」を展開しています。当社では、障がいのある職員が、育苗作業の担い手となり、オフィス緑化に伴う維持管理業務も担当しています。育苗システムでは、育苗設備の植物から採穂し挿し木を行ない、育苗ケースに設置、オアシス苗から植替えし、最終的に壁面緑化へと設置します。壁面緑化の維持管理業務では、水やりや枯葉取り、剪定を行ない、植物の健康を保ちます。

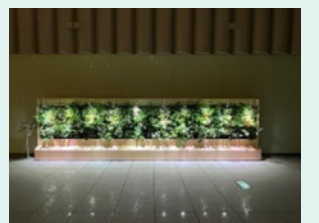
育苗後の植物は、「未来世代応援活動」の一環として、「Jリーグ×小野仲二 スマイルフットボールツアー for a Sustainable Future supported by 明治安田」に参加する小学生への配付や、職員のSDGsへの意識醸成を目的としたオフィス緑化に活用しています。

さらに、明治安田生命保険の「地元の元気プロジェクト」の支援の一環として、地元の特別支援学校の生徒の実習受入れも行ない、東京都立青峰学園および千葉県立市川大野高等学園から園芸実務体験学習を引き受け、新東陽町ビル正面通路脇に花壇を設置しました。これにより、職員や地域のみなさまが花に触れ癒され、自然を大切にする心を育む環境を提供しています。

明治安田生命新東陽町ビル



園芸実務体験学習



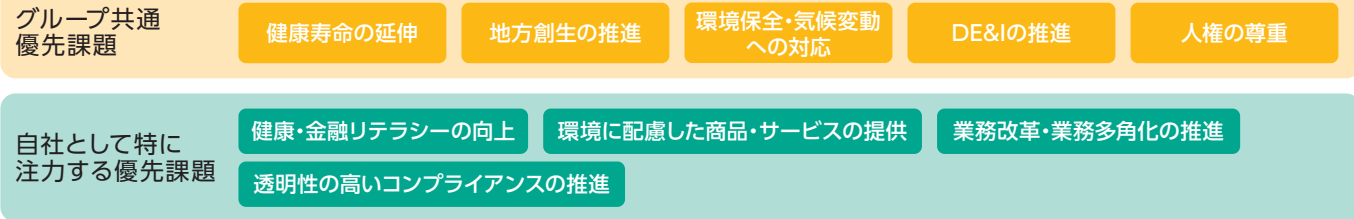
壁面緑化の様子

明治安田商事

斡旋販売業務、印刷コンサルティング、
イベントサポート等

明治安田商事では、「営業サポート会社」としての機能・役割をさらに進化させ、明治安田生命保険からの多種多様なニーズに応える『ハウスエージェンシー』化をめざし、高品質でリーズナブルな商品・サービス・印刷をご提供しています。

優先課題



イベントサポート事業を通じた「みんなの健活プロジェクト」への貢献



明治安田生命保険では、お客さま・地域のみなさまの健康に向けた前向きな活動の応援として「みんなの健活プロジェクト」を展開し、全国の支社で健康増進につながるさまざまなイベントを開催しています。

明治安田商事ではイベントサポートのノウハウを活かし、支社が主催する「健活」に関するさまざまなイベント等において、企画提案・準備・当日の運営等のサポートを行なっています。

2023年度には、「医療セミナー」「お笑い健活イベント」等319回のイベントサポートを行ない、お客さま・地域のみなさまの健康寿命の延伸に貢献しています。



お客さま・地域のみなさま向け「お笑い健活イベント」

デジタル印刷活用による環境保全・気候変動への対応



明治安田生命保険では、保険営業、各種手続き等において多くの印刷物を使用しています。従来は大量印刷に適したオフセット印刷の活用が主流でしたが、印刷工程において大量に電気やガスを消費し、CO₂が多く排出される問題があります。

一方、デジタル印刷(POD: プリント・オン・デマンド)は多品種少量印刷に適しており、印刷工程がオフセット印刷に比べて簡素化されているため、環境にやさしい印刷方法と言われています。

当社では、明治安田生命保険の印刷物の用途や印刷量等に応じて、最適な印刷方法の提案を行なっています。

これまでオフセット印刷を行っていた印刷物については

環境保全に適したデジタル印刷へ移行を積極的に提案し、2023年度実績として約2,500件のデジタル印刷を行ない、環境保全・気候変動への対応に貢献しています。

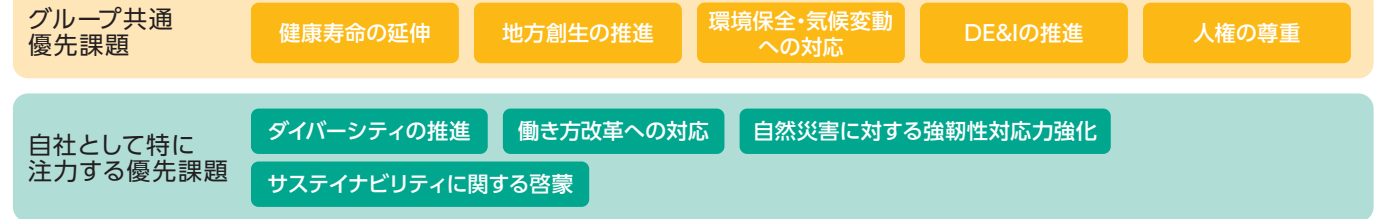


明治安田収納ビジネスサービス

口座振替による各種保険料等の集金事務代行業務の
受託、支払業務の受託等

当社は「確かな信頼を、いつまでも」という経営理念を掲げ、明治安田グループの一員として保険料収納で培ったノウハウと実績で、安全・確実・効率的な収納代行サービスを提供します。

優先課題



全国の福祉施設、スポーツクラブ等の業務効率化を支援



当社は「確かな信頼を、いつまでも」という経営理念を掲げ、収納代行会社として長期に安定した経営と、委託者様をはじめ、さまざまなステークホルダーに対し、良質なサービスの提供をめざしています。

現在、18,000を超える団体から業務を受託し、年間で約3,700万件、金額にして約9,800億円の口座振替を取り扱っています。ある委託者様のご担当者からは、「毎月多件数の集金が必要だが、この口座振替サービスを利用することで、人手が不足する中でも少ない人数の担当で処理することができ、効率的に運営できている」との感謝のお言葉をいただいています。

当社の本業である口座振替業務が、全国の介護・福祉事業者、

スポーツクラブ、マンション管理組合等、多くの委託者様の業務効率化に貢献できており、介護・福祉施設、スポーツクラブ等を利用されるお客さまの「健康寿命の延伸」や委託者様が拠点を構える「地方創生の推進」につながっていると感じています。



右: スポーツクラブ事業所の支配人様

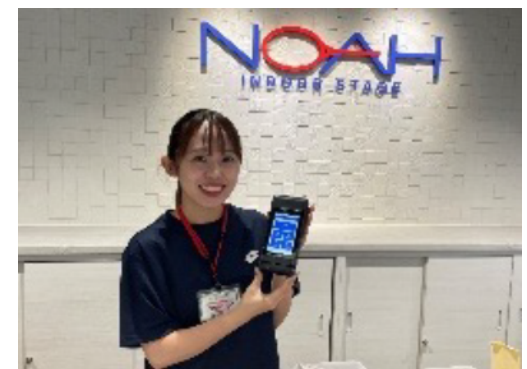
業務のペーパーレス化による柔軟な勤務環境整備



口座振替業務は、口座振替依頼書をはじめとする書類を事務処理する業務が多いため、原則として当社オフィスで業務を行なう必要があります。当社は、各種書類のやりとりによる委託者様の事務負担のみならず、こうした業務スタイルが、社員の仕事と家事や育児の両立にあたっての負担の増大につながっている点を課題と認識しています。

これらの改善に向け、委託者様との各種データ授受のオンライン化、社内業務のシステム化を進めています。また、委託者様には、ペーパーレスの口座登録手続き「Web口座振替受付サービス」のご利用や「ページー口座振替受付サービス」の導入を積極的にご案内しています。

こうした業務・諸手続きのペーパーレス化・オンライン化は、委託者様の事務負担軽減のみでなく、当社社員がテレワークを活用しやすい柔軟な勤務環境が整備されることで、優先課題に掲げる「働き方多様化への対応」の実現にも貢献しています。



「ページー口座振替受付サービス」のご利用者様

明治安田総合研究所

ヘルスケア・デジタル、社会・生活、政策・経済等の
基礎調査・研究

私たちは、確かな安心をお届けする明治安田グループの一員として、クオリティの高い調査研究成果を提供し、社会に貢献します。

優先課題

グループ共通
優先課題

健康寿命の延伸

地方創生の推進

環境保全・気候変動
への対応

DE&Iの推進

人権の尊重

自社として特に
注力する優先課題

調査研究を通じたイノベーションの支援

シナリオ・プランニング～10年後の未来を考える～



企業風土・ブランド創造運動として各組織で取り組む「Kizuna運動」の一環として、グループ横断で明治安田生命保険内組織（浜松支社、ダイレクトマーケティング推進部、債券投資部）と協働し、未来世代を担う中学生向けに、「職場見学＋金融教育プログラム」を実施しています。

そのなかで当研究所は、5～10年以上の中長期的な将来に

起こりうる未来を複数描き、その未来像に基づき企業戦略や施策の立案を支援するシナリオ・プランニングの手法を活用して、未来の幅広い可能性を考えるきっかけとなるようスタディミーティングを開催しています。

受講者からは、「未来を考える仕事があることを初めて知った」「将来のことをもっと考えたいと思った」などの前向きな感想が寄せられ、地域社会における未来世代の育成に貢献しました。



スタディミーティング

リレー・フォー・ライフ・ジャパン東京上野2024への参加



当研究所は、明治安田生命保険の企画部ヘルスケア事業企画室とチームを結成して、上野恩賜公園にて開催された「リレー・フォー・ライフ・ジャパン東京上野2024」に参加しました。

「リレー・フォー・ライフ」は、米国発祥のチャリティ活動で、チームでタスキをつなぎ、チームフラッグを掲げて歩くリレーイベントであり、各地で開催されています。がんの告知を乗り越え、生きていることを祝福し（Celebrate）、旅立った愛する人たちのしのび（Remember）、がんで苦しむ人や悲しむ人を

なくす社会を作る（Fight Back）ことをめざしており、イベントを通して集められた募金が、がん研究等に活用されます。

当チームは2日間、チームでタスキをつなぎ、歩き続けました。また、がんで亡くなった方々をしのび、がん闘っている人々を励ますルミナリエセレモニーのために、ルミナリエバッグを70個お届けしました。当研究所は「リレー・フォー・ライフ」の趣旨に賛同し、今後とも本活動に協力することで、健康寿命の延伸に貢献していきます。



AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会における講演会開催



当研究所は、がんと共に生きる若者を応援できる医療と社会をめざす「AYAがんの医療と支援のあり方研究会」の活動に賛同し、第6回 AYAがんの医療と支援のあり方研究会学術集会において、同研究会と協働で講演会を開催しました。

当日は、地域福祉の第一人者を招聘し、がん患者と医療者を対象に、「AYAが生きる社会を描く」というテーマで、AYAの

貧困や生活実態、AYAがんの就労課題についてご講演いただき、その後活発な議論が繰り広げられました。

AYAがんのAYAは、Adolescent and Young Adultの略称で、思春期・若年成人のがんを指し、主に15歳から39歳までのがん患者が対象となります。AYAがんの患者は、医療費の確保以前に、奨学金返済や生活困難による性産業への加担などの複雑な課題を抱えていることもあり、支援の充実が求められています。



明治安田厚生事業団

体力医学研究事業、ウェルネス事業

公益法人として、健康維持・増進に関する研究の推進と社会実装ならびに地域・職域における健康経営の普及・啓発をめざします。

優先課題

グループ共通
優先課題

健康寿命の延伸

地方創生の推進

環境保全・気候変動
への対応

DE&Iの推進

人権の尊重

自社として特に
注力する優先課題

健康を科学し、社会福祉に貢献

研究活動を通じた社会実装



最新の健康課題を的確にとらえ、運動・身体活動を活用して課題解決に当たるとともに、社会や経済に便益をもたらすよう、体力医学研究事業とウェルネス事業が連携して健康増進にかかわる研究・開発を推進しています。

その一つとして、職場における身近な健康課題である「座りすぎ対策」を研究テーマに掲げ、研究だけでなく、社会実装をめざして職域のみならず、職場内でもさまざまな対策を実践しています。

【座りすぎブレイク】

「座りすぎ」を防止するため、「さいころ」とメロディ時計を活用して1時間に1回体を動かします。

【ながら運動】

「立ち会議」や会議中の「ながら運動」を奨励し、「座りすぎ」を抑制しています。



座りすぎブレイク、ミーティング中の「ながら運動」

健康経営の推進・支援



独自の健康経営の推進・支援に取り組み、施策を実施することで、健康経営にかかわるさまざまな認定を取得しています。2024年度は、健康経営優良法人、健康経営優良企業「金の認定」、東京都スポーツ推進企業（あわせてモデル企業にも選出）、スポーツエールカンパニーシルバープラス（従業員の週1回以上スポーツ実施率が70%以上に付与）などを継続して取得しました。

最近では、女性の健康について定期的に社内勉強会を開催するとともに、対外的にも健康づくり講演会で女性の健康について講演しています。



東京都スポーツ推進モデル企業
表彰式



女性の健康セミナー

ヘルスリテラシーの向上



蓄積した健康づくりのノウハウをホームページで公開するとともに、健康づくり講演会の開催やメディア掲載、および健康づくり冊子「健康づくりウォッチ」、「健康づくりDVD」、「健康づくり動画」などさまざまな媒体を通じて社外への情報発信を行ない、ヘルスリテラシーの向上に貢献しています。



健康情報誌
「健康づくりウォッチ」



健康づくりDVD

明治安田こころの健康財団

発達障害のこどもたちの療育・心理相談、支援者むけ
研修講座等

財団設立の理念「子どもの健全育成を通じた社会貢献」という使命のもと、「子どもたちのいまと未来に寄り添い、伴走する財団」をめざして取り組んでいます。

優先課題

グループ共通
優先課題

健康寿命の延伸

地方創生の推進

環境保全・気候変動
への対応

DE&Iの推進

人権の尊重

自社として特に
注力する優先課題

子どもたちを取り巻く課題に取り組む

こころの健康向上に貢献

自治体、地域との深い連携

それぞれの地域への貢献、地域課題の解決に向けて



各自治体や地域が抱える地域課題解決に向けて、自治体や支援者・地域のみなさまとともに取組みを進めています。

YouTubeによる広い地域での啓発セミナーの開催や、実開催セミナーによる各地域のみなさまへの直接的な活動を行なっています。

また、財団の専門性と独自性を発揮し、支援団体と連携した支援の実践やこどもの居場所づくりを行ないながら、「未来世代との絆」に向けた取組みを行なっています。



セミナーの開催

こころの健康に向けた取組み



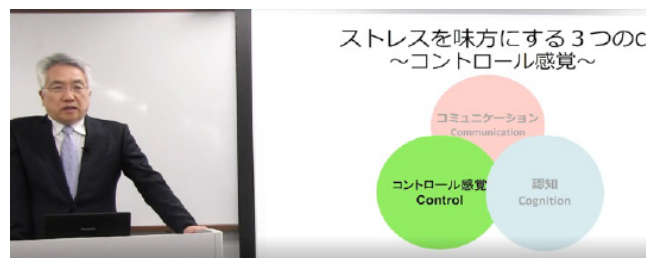
発達障害・メンタルヘルス向上への取組みは、財団の基本となる事業です。

健康に関しては、身体 の健康とともに、「こころ」の健康に関しても重要なテーマとなっており、多くの地域でその課題解決に向けて取り組んでいます。

当財団は、発達に心配のあるこどもや心理面に不安を持つこどもの健全育成に向けて、専門性を活かしながら、こころの

分野と発達障害および発達障害から起因するうつ病や依存症等のさまざまな課題への取組みをしています。

また、地域のみなさまの心の健康に向けた取組みを今後も進めてまいります。



YouTubeセミナー

明治安田クオリティオブライフ文化財団

若手音楽家の人財育成、地域の伝統文化の保存維持
に対する助成事業等

当財団は、音楽における人財育成ならびに地域の伝統文化の保存維持、および後継者育成に対する助成等を行っており、これらを通じて、国民生活の質的向上ならびに我が国文化の発展に寄与すべく取り組んでいます。

優先課題

グループ共通
優先課題

健康寿命の延伸

地方創生の推進

環境保全・気候変動
への対応

DE&Iの推進

人権の尊重

自社として特に
注力する優先課題

若者の健全育成

伝統文化の継承

ESG投資の推進

地域の伝統文化の継承・発展



わが国において、古来、地域に伝承されてきた民族の遺産ともいえる固有の伝統的な文化が時代とともに消滅しつつあります。このような状況のなか、歴史的・文化的に価値ある地域の民俗芸能および民俗技術を正しく後世に残すことが時代の責務であるとの考えに立ち、当財団では、これらの継承のための活動、特に後継者育成のための諸活動への支援を助成金を通じて行なっています。

1991年度から2024年度までに行なった助成は累計で1,461件、助成金額は7億2,847万円となり、助成対象となった団体や地元の地方公共団体からも「感謝の声」を多くいただいています。

これからも地域の伝統文化の保存・維持に向け、持続可能な取組みを展開してまいります。



京都府宮津市「初土俵入保存会」の「赤ちゃん初土俵入り」

若手音楽家の人財育成



当財団は、1991年6月の設立以来、「クラシック音楽分野における若手音楽家の人財育成」を目的として海外音楽研修や海外音楽コンクール参加のための費用の助成を行なっています。

また、国内のクラシック音楽文化の向上のため、将来の専門家をめざして努力している学生への奨学金の支給や、若手音楽家の登竜門といえる「日本音楽コンクール」(毎日新聞社・NHKが主催)において、作曲部門の特別賞の助成を行なっています。

これまでに行なった助成は累計で611件、助成金額は10億4,990万円となり、当財団が助成金を支給した若手音楽家の多くは、現在、国内外でクラシック音楽を牽引する役割を発揮し、幅広く活躍しています。



海外音楽研修生のクラシックコンサートでの演奏

明治安田健康開発財団

健診事業、健康増進支援事業

「健診からはじまる健康づくり」を提案する人間ドックと、社会の健康増進に関する「情報発信基地」の運営を通じ、確かな安心と豊かさをお届けします。

優先課題

グループ共通
優先課題

健康寿命の延伸

地方創生の推進

環境保全・気候変動
への対応

DE&Iの推進

人権の尊重

自社として特に
注力する優先課題

健康リテラシーの向上

LGBTQ対応

雇用機会の創出

障がい者、外国人対応

健康寿命の延伸



人生100年時代を見据え、「健康寿命の延伸」に向けた取り組みの重要性はますます高まっています。

当財団では、地域の疾病予防・健康管理に貢献するため、創業以来延べ65万人以上のお客さまに、人間ドックをはじめとする健診事業を展開してきました。さらに、2023年春に、新宿エリアで最大級となる新施設に移転しました。その結果、男女別にゆったり落ち着いて受診することが可能になるとともに、施設内の医療機器を刷新拡充することで、検査の精度や予約の取りやすさが改善しました。

また、多目的スペースの設置、施設内表示の強化、LGBTQアライ宣言の掲示等を通じ、障がい者や外国人、LGBTQの方々も快適に安心して受診できる、多様性を尊重した環境づくりに注力しています。

に注力しています。

これらの取り組みにより、地域社会のみなさまの健康意識を高めることで、生活習慣の改善をはじめ、病気の早期発見、早期治療の実現を通じ、社会全体の健康寿命の延伸に向けて貢献していきたいと考えています。



明治安田新宿健診センターフロア

健康リテラシーの向上



企業の労働生産性の維持・向上を目的とした健康経営の取り組みや、地域が持つ健康課題に向けた自治体ごとの健康づくり施策など、世代を問わず、健康づくりの重要性はいっそう高まりをみせています。

当財団では、運動や食、健康経営など健康科学のエキスパートがそれぞれの経験をベースに、大学や研究機関の研究成果など最新の知見を活用し、企業・団体との連携を通じて健康づくりを支援することに取り組んでいます。

具体的には、対面またはウェブを通じたイベント・セミナーの開催、測定機器を用いた運動機能や認知機能などのみえる化、すぐに使える健康増進支援ツールや動画コンテンツの作成・提供、健康経営セミナー・コンサルティング・個別相談等、現場



セミナーの開催

が求めるニーズを加味したヘルスプログラムを展開できる体制が最大の強みです。

財団独自のエビデンス確立のため、調査研究チームも立ち上げ、生涯を通じて生活の質を維持・向上させることができるよう、誰ひとり取り残さない、社会全体の健康リテラシー向上に努めています。

ダイヤモンド・スポーツクラブ

会員制テニスクラブ、テニススクール運営

テニスを通じて、地元のみなさまの健康、およびこどもの健全な教育推進をサポートし、信頼を得て、選ばれるテニスクラブ・スクールをめざします。

優先課題

グループ共通
優先課題

健康寿命の延伸

地方創生の推進

環境保全・気候変動
への対応

DE&Iの推進

人権の尊重

自社として特に
注力する優先課題

こどもの健全育成

使用済テニスボール寄付活動



当スポーツクラブでは、レッスンに使用しているテニスボールは、一定期間使用した後に使用済みとして廃棄しています。一方その中には、まだテニスの練習に使用可能なボールもあるため、これを近隣の中学や高校のテニス部に寄付し、生徒のみなさまにご使用いただいています。

また、テニスボールとしては使用することが難しいものも、ボールに切れ目を入れて机・椅子の足に履かせることにより、机・椅子の引きずる音を軽減し、接触によるケガの防止策として活用することができるため、近隣の介護施設や小学校の支援クラスに寄付することで、有効にご活用いただいています。



テニスを通じたこどもの「非認知能力」の養成



当スポーツクラブでは、独自の取り組みとして、こどもの非認知能力を目覚めさせ、それを伸ばしていくことを目的に「非認知能力養成」レッスンを開講しています。



ダイヤモンド式非認知能力育成メニュー

近年、ますます注目されている「非認知能力」！
粘り強さや自制心、やる気や自信、協調性などのテストでは点数にできない力のことです！

非認知能力が育つことで、学力アップにもつながるし、社会に出て活躍できるようになると言われています。特に、多様化と変化が激しいこれからの時代はなおさら必要です！

DAIJOBU
だいじょうぶ！
落ち着ける自制心

DONMAI
どんまい！
と我慢できる忍耐力

DEKIRU
できる！
と思える意欲

DEKASHITA
できました！
と自分に言いえる自尊感情

DARETO DEMO
だれとでも！
一緒にできる協調性

そこで、ダイヤモンド・テニスクラブでは、お子さんの練習メニューの中に非認知能力を育成できるための要素を入れ込んだオリジナルメニューをスタートします！

スタンコープ・ファイナンシャル・グループ(米国)

Employee Giving 365



スタンコープ社では毎年、1年を通じて、地元のNPOや学校への寄付を従業員から募っており、スタンコープ社・明治安田生命保険もマッチング拠出する一大キャンペーンになっています。従業員は自分が関心を持つ分野や団体を選んで寄付することが可能で、2023年は、1,800名以上の従業員が参加し、総額550万ドルを2,562の学校や非営利団体に寄付しました。

加えて、“Jeans Days Program”という寄付プログラムも



展開されています。これは2006年に、スタンコープ社創設100周年の記念イベントとして開始したもので、非営利団体へ100ドルを寄付した従業員は、毎週金曜日にデニム(ジーンズ)で出勤できる権利を獲得できました。

2021年には“Employee Giving Community Fund”に改名し、デニム出勤の権利に加えて、フード付きのスペシャルTシャツがプレゼントされています。寄付金はスタンコープ社と明治安田生命保険でマッチングされ、毎年選ばれた非営利団体に分配されています。

2023年の寄付は特に若年層を支援する団体に対して行ないました。

コラム

グループ内のシナジー

明治安田生命保険の「地元応援募金」は、Employee Giving 365に着想を得て始めたものです。2023年度の当社の募金額は7.7億円にのぼり、その規模は年々拡大しています。これからも、海外事業とのコラボレーション・シナジーを発揮しながら、日本の内外で社会的インパクトを創出していきます。

ボランティア機会の提供



スタンコープ社の従業員には、毎年、ボランティアのための有給休暇(8時間)が与えられます。従業員の多くがその有給休暇を活用し、学校などの団体や読み書き支援プログラム等、数多くの地域コミュニティの提携団体を支援しています。

また、従業員で作るボランティアグループが9つあります。例えば、黒人従業員ネットワークでは、スタンコープ社の黒人従業員の募集・定着・昇進をサポートしており、女性のためのキャリアネットワークでは、乳がん啓発月間に乳がん闘う取組みに全米から参加しています。

各グループには役員1名がスポンサーとして賛助しており、従業員同士を結び付けています。

同社では傑出したボランティアを行なった従業員を年4回選出し、オンラインの全従業員ミーティングにて、マクミランCEOより受賞者の紹介と受賞者のボランティアに対する想いを発表する時間が設けられます。

また、受賞者に1,000ドルの賞金と受賞者の属する非営利団体に1,000ドルの寄付を行ない、ボランティアに励む従業員を讃えています。



経営陣・リーダー層による率先垂範



Board serviceと称し、スタンコープ社では役員や管理職が地元の市民団体やNPO法人の理事を兼職することを推奨しており、2023年は約50人が奉仕しました。同時に、非営利団体の

理事になることに意欲がある従業員に対しては、必要な専門知識に関する育成トレーニングを提供しており、多くの従業員が受講しました。その取組みを参考に、明治安田生命保険でも役員層が各自関心のある分野と団体を選定のうえ自発的にボランティア活動に従事し、その体験談を全従業員向けに発信する取組を実施しています。

“Woods gone wild! (森が野生化した!)”



米国の多くの公園や遊び場は、障がいのあるこどもたちにとって使いにくいことが多く、彼らが遊びに没頭できる遊具がありません。

そこで、スタンコープ社の慈善財団が助成金を出し、オレゴン州のヒルズボロ市の公園に「オロ」(スペイン語で金)という名の100%バリアフリーの遊具を設置しました。約15メートルの杉材でできている優しい顔をした森の巨人で、どんなこどもたちも遊べるように設計されています。

それ以外にも、トイレや駐車スペースの改修、日よけの増設など随所に工夫を施し、「みんなが100%参加できる」公園を作りました。



公園にいる「オロ」

CO₂排出量の削減

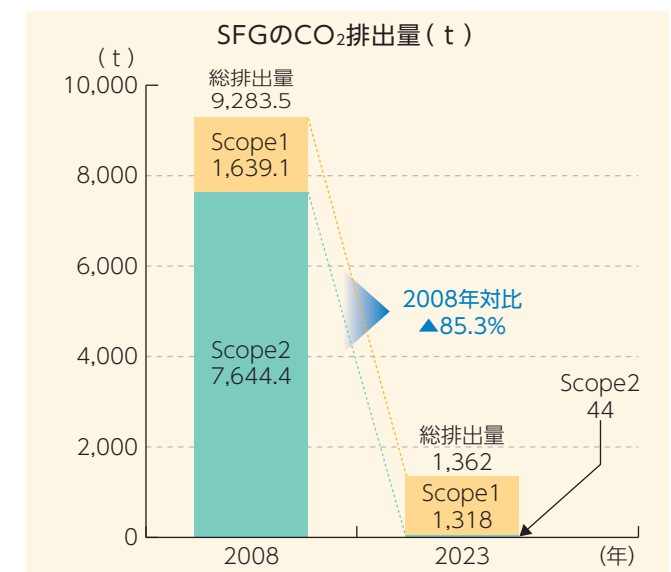


スタンコープ社は環境保護と気候変動対策のための取組みを優先・強化し、「地球の健康」がお客さまと従業員の健康・安全だけでなく、同社の事業の成功にも結び付いているという意識を持ち続けています。

具体的な取組みとして、以下の3点が挙げられます。

- ①再生可能エネルギーの活用
2023年の実績として、電力のうち960万kW/hを風力発電による再生可能エネルギーに切り替えました。
- ②エネルギー効率の向上
自社所有の建物のエネルギー効率の向上を目的に、省エネ機能(LED照明、モーションセンサー、省エネ冷房等)を設置しました。
- ③「フレキシビリティ・ファースト」(テレワークのサポート)の導入
ほとんどの職種において100%テレワークもしくはハイブリッドワーク(出社・在宅勤務の併用)が可能となりました。

その結果、2023年のCO₂排出量(スコープ1と2)は、基準年である2008年と比べて約85%減少しました。



多様な人財



スタンコープ社の従業員構成は、女性63%、マイノリティ(黒人、ヒスパニック等)27%、障がい者7%と多様化しています。また、リーダー層でも、女性50%、マイノリティ15%、障がい者

5%となっています。

加えて、幹部候補人財のプーリング段階において、「多様な人財(マイノリティ、障がい者、退役軍人等)」が対象となるよう、候補者に占める割合目標を80%と設定しています。

パシフィック・ガーディアン 生命保険(米国)

ハナイの文化と女性活躍推進



ハワイは他の州に比べて所得が低く住居コストも高いため、子どもが生まれた後に女性が仕事を辞めるという選択肢はほとんどありません。

「ハナイ※」という言葉に代表されるように、ハワイでは人との結びつきが強く、それぞれのコミュニティの中で家族や友人がお互いをサポートする文化があり、子育てもサポートし合っています。

そのような環境のなか、PGL社では公平性への配慮や柔軟な勤務スケジュール、女性へ昇進機会・リーダーシップ研修の機会を提供し、女性活躍のための整備を進めています。

その結果、職員の62%、役員の56%が女性であり、2020年7月にはPGL社初の女性社長兼CEOが誕生しました。2024年、リーCEOは、Pacific Business Newsにてハワイで最も尊敬されるリーダーの1人に選出されました。

※ハワイ特有の養子制度の慣習。他社への尊敬や思いやりを大切にするハワイの文化において、家族やコミュニティの絆を強調する重要な概念です。



表彰時のリーCEOの紹介

【当社(明治安田)との相互理解促進・コミュニケーション】



DE&Iについての座談会の様子

2024年10月、スタンコープ社・PGL社のCEOが当社を訪問し、当社職員との座談会を行ないました。

テーマはDE&I (Diversity, Equity, and Inclusion) で、LGBTQ+や女性活躍、育児との両立など働きやすい環境づくりの推進等についての具体的な取組内容を共有・議論しました。

TUIR フルタ S.A. (ポーランド)



再生可能エネルギーへの転換に向け、洋上風力発電所の建設等にかかる保険商品の開発・提供を推進するとともに、石炭火力発電所を対象とした商品からの段階的な撤退を予定しています。

また、2024年9月にポーランド南西部を中心に発生した洪水の被害を受けた地域への支援として、ポーランド軍へ重機の寄贈を行なうとともに、被災者への迅速な保険金支払いを目的とした手続書類の簡素化や査定体制強化等の特別対応を実施しました。



寄贈した重機による復旧作業

TU オイロパ S.A. (ポーランド)

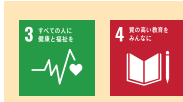


従業員の心身の健康づくりをサポートするため、毎週木曜日にオフィス内でヨガ教室を開催しているほか、スポーツ大会参加費用の補助を行なっています。また、従業員がスポーツを通じて消費したカロリー数に応じた障がい者団体への寄付や自転車通勤イベント参加者数に応じた植樹の取組みなど、従業員の健康づくりと地域貢献を組み合わせた独自性のあるイベントを企画・開催しています。



自転車イベント参加の様子

タイライフ・インシュランス PCL(タイ)



「Sports Showcase」と呼ばれる学生アスリートと海外教育機関のマッチングイベントを2019年から毎年開催しています。才能ある学生アスリートには海外で競技するための奨学金が教育機関から授与され、過去5年間で336人の参加者に対して合計16億700万バーツ(約65億円)以上が授与されました。

またタイライフ社では、参加者の両親に対して、子女の海外留学実現に向けた資産形成勉強会も開催しています。



Sports Showcase開催時の記念撮影

その他、タイ赤十字社のためにさまざまなボランティア活動を実施しました。献血活動においては、社員とその家族、およびお客さまに対して定期的に献血を呼びかけ、本社および支店など29ヵ所で献血活動を行ないました。2023年には、34,383人の患者分に相当する5,157,450ccの血液が集まり、初めて献血を行なった人は742人に上りました。

さらに、ウドンタニ病院を通じて臓器提供の啓蒙キャンペーンを展開し、700人の新規ドナーが臓器提供の意思を表明しています。



献血活動時の様子

北大方正人寿(中国)



毎年、営業展開地域の学校に対して支援を実施しており、2024年には、自閉症学校あてに約150万円を寄贈しました。寄贈額は、健康増進にむけてお客さまと実施したウォーキングイベントにおける達成歩数で算出し、自閉症学校卒業後の社会進出支援に使用されます。人寿職員は、教師との座談会を通して、自閉症児童支援の現状と課題に対する理解を深め、今後も可能な限り、自閉症支援とその認知度向上に向けて取り組む予定です。



自閉症学校の先生方と人寿職員で記念撮影